

バスケットU-15

クラブチーム 用品贈呈

地域貢献活動



▲クラブチーム『TOGETHER・・・』の選手みなさんと野原社長



久手堅笑美さん

沖縄トヨタグループは、糸満市を拠点に活動する15歳以下女子バスケットボールクラブチームの『TOGETHER・・・』(以下、トウギヤザー)にバスケットボール用品計22点を贈り、贈呈式を実施した。

この取り組みを企画したのは、沖縄トヨタグループの野原朝昌代表と株式会社OTMの土地安明副社長とグループ戦略室。そしてトウギヤザーに所属する選手、スタッフ、保護者の方々だ。

トウギヤザーのクラブオーナー兼ヘッドコーチを務めるのは、同社社員の久手堅笑美さんである。

地元糸満市の中学校から北中城高校―拓殖大学と進学し、卒業後は(メダブリュリーグ)に参加するトヨタ自動車アンテロープスに所属。2011年からは日本代表にも選出され、国内外で活躍した。2017年の現役引退後はアンテロープスのサポートコーチに就任。その後、2019年には地元沖縄に戻り、沖縄トヨタ自動車の社員としてバスケットボール活動や講演会などを通して沖縄県におけるスポーツ振興や青少年育成に携わっている。

『TOGETHER・・・』U15

U15女子バスケットボールクラブチームである『TOGETHER・・・』は2022年4月に発足したばかりの創部6カ月のチームだ。

所属する選手の多くは糸満市内の中学校に通っており、22名全員が中学1年生である。

チーム名には常に、共に戦う選手、スタッフ、サポートする保護者がいてチームが成り立ち、そしてそれが仲間であり、『TOGETHER』つまり一緒に成長し勝利をつかんでいくという意味が込められている。『・・・』についても共に」と連動するように共に(学ぶ)共に(戦う)共に(成長する)という言葉を当てはめることで、一体感のあるチームを目指していく。

チームは10月からスタートするジュニアウィインターカップ沖縄県予選に初出場する。

用品贈呈の経緯

沖縄トヨタグループでは、久手堅さんの活動を沖縄トヨタグループの地域貢献活動の一環と位置付けており、チームが必要としている支援として選手が使用するボールの統一化が挙げた。現在は選手それぞれで用意したボールを練習で使用しているため、メーカーや品番によって材質や手触りが異なりボールタッチにばらつきが生じていた。

今回の贈呈された用品は、選手22名全員分の練習用ボールと試合用ボール3球。チームへボールカゴとボールバッグが送られている。

選手を代表して感謝の言葉を述べた松堂キャプテンは、サポートしていただいている周囲への感謝を忘れず、沖縄一のチームを目指します。」と意気込みを語った。



ボールを贈呈する野原社長と受け取る松堂キャプテン

(株)OTM グループ戦略室
ファン拡大企画課

発行



久手堅笑美さんのバスケットボール活動は
専用Instagram でも随時発信中！QRコードのリンクから!!

お知らせ